

ベトナムにおける現地情報

2022年11月22日

ASIA GATE VIETNAM CO., LTD.

豊田英司

【コロナ及び渡航関連ニュース】

【経済関連ニュース】

(ベトナムのガソリン不足の状況について)

現在、ベトナムでは石油価格の高騰はひと段落し、「高止まり」の状態にあると言
って良いと思いますが、今度は多くの給油所においてガソリンが不足しており、
「お金を払っても給油ができない」という事態がベトナム南部を中心におき、北部
にも広がりを見せ、ガソリンスタンドでの「給油待ち行列」が常態化しつつありま
す。

原因としては、ロシア・ウクライナ紛争、コンテナ不足による運送費高騰、ドル高
など様々ありますが、結果として輸入ガソリンや軽油の販売は現在の小売価格では
採算がとれない、とし一部の業者はガソリンとディーゼルの輸入を制限しており、
それがガソリンスタンドでの石油不足につながっています。

これはベトナムの石油小売価格が政府によって固定されていることに原因がありま
す。

ベトナムにはビンソンやズンクワットといった石油化学製油所もあるのですが、こ
れだけでは国内需要の70%程度しか満たすことができず残りは輸入に頼らざるを得
ないのが実情です。

国内では政府が決定する石油小売価格の変動が実情に追いついておらず、それに対
する不満も出ています。

ベトナム政府としても石油小売企業にとって「売れば売るほど損失が出る」状況の
中、輸入や販売を強制するわけにもいかず、生活にも直結する問題ですので、政府
の早急な対応が注目されています。

(ベトナムドンの対アメリカドルの下落状況について)

現在、アメリカドルに対する円が下落状況にあるのはご存知の通りですが、ベトナムドンの状況については

- ・円に対してはドン高
- ・アメリカドルに対してはドン安

の状況にあります。

まず、ここ1年間の「1円に対するベトナムドン価格」でいうと、このように急落しています。



(ベトナムドン：日本円レート 2022年11月22日現在)

要するに

「1円で手に入れられるベトナムドンが急激に減っている」

ということで、つい1年前は1円で200ベトナムドンを手に入れたのに現在180ベトナムドンしか手に入らないということは10%も日本円の価値がベトナムドンから見ると落ちたこととなります。

これが大きな原因となり、現在、日本へ行く技能実習生が「約束した日本の給与ではベトナムドンに替えた時に大幅に減ってしまう」と大きな不満を漏らしていることが各種のニュースで報道されています。

一方、米ドルとベトナムドンの関係がこちらです



(ベトナムドン：アメリカドルレート 2022年11月22日現在)

これは右肩上がりになっておりますが、要するに

「1ドルを獲得するのに必要なベトナムドンが急増している」

ということですから、ベトナムドンの米ドルに対する価値が急落している、ということなのです。

1年前に約1ドル=22,675ドンだったものが、現在、25,000ドン近くですので、こちらも10%以上の価値下落となっております。

これにより、海外からの原材料や部材の輸入に関してベトナムの地場企業中心に非常に厳しいコスト調整局面を迎えており、これがインフレを引き起こすことが懸念されています。

(ベトナムのビザの状況について)

現在、東南アジア諸国が続々とコロナ後に外国人に対する長期ビザを発行し始めている状況に比べ、ベトナムはいまだに非常にビザ取得についての難易度が高いままであることが議論を呼んでいます。

ベトナムは3月15日にコロナ後に海外からの観光旅行者の入国について再開したのですが、コロナ前は普通に取得できていた3ヶ月以上有効で複数回の入出国ができる「マルチエントリービザ」の発行は中断したままで、現在、30日有効で1回限りの入出国しかできないシングルエントリービザの発行しかしておりません。

ただ、日本人の場合、15日以内であればビザなしで入出国できますので観光旅行や短期に出張であれば特に問題はないと思います。

3ヶ月程度の中期出張の方などはいちいちビザを取得し直さねばならず、また、そのために出国が必要となることも大半ですので、非常に面倒があるようです。

こういった厳しいビザポリシーには批判も多いので来年以降、改善されることを望みます。

以上